

にんにく



主な加害種:サル



加害種:ニホンザル

にんにくの株を引き抜く、または折り取った後、根元の白い茎の部分だけを食べ、鱗茎(にんにくの実の部分)と緑の葉は残して周囲に捨てることが多い。長ねぎやたまねぎも根元の白い茎の部分を選択的に食べるため、よく似た食痕になる。

撮影:石川



NAROchannel <https://youtu.be/KpOVnSdN8os>
で動画を見ることができます。

加害種:ニホンザル

群れでにんにくを食べる様子。株を引き抜く、または折り取った後、根元の白い茎の部分だけを食べ、鱗茎(にんにくの実の部分)と緑の葉は残して周囲に捨てるが多い。

防獣ネット等で作物を防衛する場合は地際を確実に固定しないとネットをめくりあげて侵入するので注意が必要。竹や石などで押さえにする場合も、固定が不十分だと重しをどかして侵入される。

撮影:石川